

## 北陸新幹線（敦賀・大阪間）の整備促進に関する決議（案）

北陸新幹線は、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、東北・北陸・関西・山陰などをつなぐ日本海国土軸の形成に必要な不可欠な国家プロジェクトである。

敦賀・大阪間については、平成29年3月に全区間のルートが決定され、現在、環境アセスメントが進められているところであるが、国土交通省によると、新大阪駅までの全線開業時期は、約30年後の令和28年となっている。

しかし、北陸新幹線の開業効果を早期に発現させるためには、**1日も早い着工と新大阪駅までの全線開業**が不可欠である。

については、政府・与党において、北陸新幹線の整備促進に関する次の事項を実現するよう強く要望する。

### 1 環境アセスメントの丁寧かつ迅速な実施及び建設財源の確保

沿線地域の意見を踏まえながら、環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進め、これと並行して、早期に建設財源を確保するとともに、環境アセスメント終了後、中断なく敦賀・大阪間について一気に整備し、全線開業を1日も早く実現すること。

### 2 新大阪駅における駅位置の早期確定及び駅機能の強化

新幹線ネットワークの中心となる新大阪駅については、国土交通省の地方創生回廊中央駅構想の実現に向けた調査を地元自治体など関係者と連携して速やかに進め、駅位置を早期確定するとともに、利用者の利便性に配慮した駅の機能強化を図ること。

### 3 全線開業までの間における敦賀駅での乗換利便性の確保

新大阪駅までの全線開業までの間、敦賀駅において新幹線と特急との乗換が生じることから、北陸・関西間の円滑な流動性を確保するため、既存の運行計画にも配慮しながら、乗換利便性の確保を図ること。

以上、決議する。

令和元年11月26日

北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会